

これから的生活にフィットする車とは…そこにポイントをおいた室内設計です。

インストルメントパネルも合理精神を重視したデザインです。運転席に座ると、すぐ目の前に各メーターや、車の異常をひと目でチェックできる集中警告ランプを設置。操作のための機能とは明確に分けています。ステアリングは小径で握りの太いタイプ。その手もとにはマルチユースレバーを設置。視界の広さもお確かめください。もともと前後のオーバーハングをカットしたコンパクトボディに加え、面積の広いパノラミックウインド。死角は最小限です。傾斜の大きいフロントウインドは、上方視界を広げて信号確認を楽にしています。

●ライトを消し忘れてバッテリーがあがってしまった…そんなトラブルのないよう、ライト消し忘れ警告ブザーを装備。ライトをつけたままでキーを抜きドアを開けるとブザーで注意します(XTE、XGE)。

●ベンチレーションシステムは、窓を開けなくても快適さを保てるように設計しました。理想的な3方吹き出し口、停車中でもワンタッチでできる強制換気方式、頭寒足熱のバイレベル式ヒーターなどがその例です。

シャレードは、取りまわしの楽なボディサイズ=投影面積5.2m²を持ちながら、考えられないほど広い室内を実現。特に後席には驚くほどのスペースを確保しています。世界中の様々な国の人々にご愛用いただければ、身長175cmの人が前・後席に樂に乗っていただける広い室内を、と考えて設計したからです。しかも、FF方式ですからフロアにトンネルの大きな出っ張りがなく足もとノビノビ。また、ゆったりした室内高や、視界の広いパノラミックウインド、差し込み式ヘッドレスト(XTE、XGE)などが、室内全体に開放感を与えています。

●シャレードのエアコン(オプション)は、インストルメントパネルの奥にユニットを内蔵する新しいタイプです。助手席のレッグルームをせまくすることもなく快適です。

